

2017 年度第 2 回 火山学会理事会 議事録

開催日時および開催場所

2017 年 5 月 20 日 17 時 30 分～20 時 10 分

千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場 202 号室

出席者：井口正人，篠原宏志，山里 平，市原美恵，上田英樹，大倉敬宏，大野希一，下司信夫，嶋野岳人，東宮昭彦，西村太志，橋本武志，萬年一剛，三浦大助，吉本充宏

オブザーバー：平林順一 監事

1. 庶務委員会報告

2016 年度下半期からの会員動向について資料 1 の通り報告された。会員総数は、5 月 20 日に会長が承認した新規入会分を含め、1063 名となった。

2. 編集委員会報告

編集委員会から「火山」の編集状況について報告された。62 巻 2 号は 6 月末に発行予定で、総説 1，寄書 1 を掲載予定。現段階で査読中の論文は 6 編，受理済未掲載が 1 件である。

3. 大会委員会報告

審議事項

議案 1 大会参加費の改定案が大会委員会より提案された。今年度から会員の参加費を 4000 円，非会員を 5000 円に改定する。学生の会員，シニア会員の参加費は据え置く。大会参加費改定については特段の異論はなく，大会委員会の提案通りに了承された。

報告事項

本年度の秋季大会（熊本大学）は準備が順調に進んでいる。本年度の秋季大会はセッション提案を導入する予定。

今年度より，予稿集の PDF 化を行う。会員は無料でダウンロードできるようにする。また，冊子体発行は希望者に有償（2000 円/冊）で予約販売を行う予定。

2018 年度秋季大会は，2016 年度第 6 回理事会で議決した通り秋田大学で開催する方向で準備中。また 2019 年度の開催地については今年度の秋季大会後に公募予定である。

4. 事業委員会報告

昨年度の秋季大会で T シャツの販売を実施した。大人用ほぼ完売し子供用が少し残っており販売中である。

5. 財務

議決事項

議案 2. 2016 年決算案。

一般会員への富士火山の販売 2 件 12800 円が徴収不能となっており，督促をしているが不調であることが報告され，これを 2016 年度決算に徴収不能額として計上することが提案された。理事会として

承認した。

これに続き、2016年度の予算執行状況が報告され、決算案が提示された（資料2）。2016年度は経常収入が1312万円であったのに支出が1381万円で、赤字となっていること、支出額については、当初予算よりもかなり圧縮できていること、アジア火山コンソーシアムの支出については開催が2017年度4月になったため2016年度決算では未使用となっていることなど、財務状況及び予算執行状況が報告された。また、監事による会計監査を実施し、会計が適正に執行されていることが確認されたことが報告された。

決算案について特段の質疑はなく、委員会報告通り承認し総会に提案することとなった。

議案3. 2017年度予算案

2017年度予算案が提示された（資料3）。議題1で承認した大会費の値上げを反映した予算案であり、大会費値上げ分による増収は60万円を見込んでいる。これを含めた経常収入予定が1226万円である。また支出として448万円はアジア火山コンソーシアム分であることなどが説明された。予算案については特段の質疑はなく、理事会として2017年度予算を承認し総会に提案することとなった。

なお収支の改善について、将来計画検討委員会で検討することとなった。

6. 火山防災委員会報告

2016年度下半期の活動及び今後の活動予定が報告された。

主な活動として、3月28日に内閣府火山防災協議会に参加する火山専門家の連携会議が開催され、火山防災委員会はオブザーバーとして参加したことなどが報告された。

今後の予定として、以下の事業が報告された。

1. 連合大会期間中における火山防災シンポジウムの開催。5月21日。
2. 防災学術連携体総会参加（6月 土木学会）
3. 防災推進国民大会参加（11月仙台）
4. 「火山パンフレット」の改訂

7. 各賞選考委員会報告

議案4. 表彰規程の一部修正が提案された（資料4）。修正理由は、秋季大会の学生優秀発表賞は、現状では総会の承認が必要であるため、確定後すぐに表彰できない不都合がある。これを受けて、学生優秀発表賞については各賞選考委員会が候補者を選定して理事会で承認する、とする表彰規程修正案が提案され、修正案について提案通り承認した。

また、口頭発表賞およびポスター発表賞は1人1回限りとすることが併せて提案された。受賞回数を限る必要がないのではないかと意見が出された。また、複数回同じ賞を受賞するよりも授賞をステップアップしてゆくことを奨励する意味で1回限りとするという意見もあった。議論の結果、口頭発表、ポスター発表それぞれ1回限りとすることで、理事会で承認した。

また、審査員の選定とその確保を容易にするために、秋季大会の参加者登録を行うことが提案された。これにより審査員の依頼が早目にできるメリットがある。また、審査基準のばらつきを抑えるため1件当たりの審査員数を増員することが必要であるため、学生のポスター発表については、例えば数分の口頭発表を行うなどの案が提案された。今後、大会委員会、LOCと各賞選考委員会で議論して理事会で方針を共有することが確認された。

8. 将来計画委員会報告

24日に委員会実施することが報告された。

9. 広報委員会報告

ホームページの作り替えについて、たたき台を作成したことが報告された。学会ホームページの全体の再構築の作業委託を行ない、あわせて技術的提案を受けた。本事業には2017年度に20万円以上を支出して改修する予定。現在のホームページコンテンツには、「火山 Q&A」が約250ページ分あり、これらをすべて移行することは予算上困難と思われる。また、現在のページにある CGI はデザインを変えて新しいページに移行可能である。今年度の秋季大会の投稿が終了したのちに、ページ移行作業を実施することとなった。

10. 学校教育委員会報告

今年度のサマースクール開催予定が報告された。今年度の地震火山こどもサマースクールは熊本県益城町で実施。8月9日10日を予定している。宿泊なく日帰り参加とする。また、来年度は伊豆大島を予定している。

11. 他学会

火山学会の EPS への分担金への対応について検討を行った。他学会関連委員会から、これまで科研費によっていた EPS の運営を自立的に行うため、関連学会への分担金引き上げが打診されていることとその経緯が報告された。また火山学会から、分担金算出の根拠としての EPS の財政シナリオの提示を求めたのに対して、EPS の長期戦略 WG から財政シナリオとそれに基づく分担金の算定案が提示されたため、資料として合わせて提示された。また次期科研費には、地球惑星科学連合の雑誌である PEPS と EPS を合わせて提案する予定であり、その中で EPS は地球惑星科学連合のレター誌としての位置づけとなっていることなどが報告された。これについて議論を行った結果、地球惑星科学連合内での EPS の位置づけが議論された。特に、EPS が地球惑星科学連合傘下の雑誌となった場合には、地球惑星科学連合傘下の特定の雑誌にのみ火山学会が分担金を負担する理由の説明が困難であるとの意見が出された。

また、学会員向けの EPS 長期戦略アンケート案について提示された。アンケート方法については検討が必要で、バイアスのかからないアンケートの取り方を工夫する必要があることが指摘された。

12. ジオパーク支援委員会

今年度の秋季大会に合わせ、阿蘇ジオパークにジオツアーの打診を行う予定。

13. 国際委員会報告

アジアコンソーシアムの活動について報告された。アジアコンソーシアムを4月に桜島で開催した。来年度以降の見通しについて、今年の9月に ACV のコアメンバーで議論する予定である。第3回の ACV は現在のところ韓国済州島で行う見込み。日本火山学会からは講師派遣など人的な支援が必要になるとと思われる。火山学会の活動としてどれぐらい直接的に行うかを検討する必要がある、などの課題が報告された。

ACV については外部資金の獲得が必要であることや、火山学会の経費を使うこと自体問題はないが、

ACV について学会員に対するアナウンスが浸透していないことは問題である、との意見が出された。
学会員に対する周知を早めかつ確実にを行う必要性が共有された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2017 年 5 月 29 日

議長 井口正人

議事録署名人 篠原宏志

西村太志

資料 1

特定非営利活動法人 日本火山学会 (2017年5月20日) 庶務報告

〈会員関係〉

1. 入退会希望

2016年度秋季大会後・入会 (承認済み) 17名 団体 2件

維持会員 1名, 学術会員 9名, 一般会員 7名, 団体一般会員 2件

2017年度連合大会後・入会 (未承認) 4名

維持会員 0名, 学術会員 2名, 一般会員 2名

2016年度・退会 14名

維持会員 3名, 学術会員 10名, 一般会員 1名

2017年度・除名対象 19名

維持会員 3名, 学術会員 15名, 一般会員 1名

2. 会員数

	維持会員	学術会員	一般会員	計
2016年秋季大会後 (個人)	287	693	80	1060
2016年秋季大会後 (団体)	2	0	16	18
名誉会員	9	0	0	9
2016年秋季大会後・合計	298	693	96	1087
2016年秋季大会後入会 (個人)	1	9	7	17
2016年秋季大会後入会 (団体)	0	0	2	2
2017年連合大会後入会 (個人)	0	2	2	4
2016年学生会員・会員資格継続	0	1	0	1
逝去	0	1	0	1
2016年度退会	3	10	1	14
2017年度学生会員継続申請未定出	0	33	0	33
区分変更	2	-2	0	0
2017年度第1回理事会時の合計	298	659	106	1063
2017年除名対象	3	14	1	18
2017年対象者除名後	295	645	105	1045

3. 2017年度・除名対象 : 19名 (別紙)

※6月下旬に除名警告書を発送後, 8月末日までに会費の支払や会員資格継続希望の連絡がない場合除名。

4. 2017年度学生会員継続申請未提出

学生会員継続申請未提出者 33名 (内7名会費未納有り) (別紙)

資料2

平成28年度決算

勘定科目名称	予算額	決算額	実績差異
《経常増減の部》			
【経常収入】			
【会費収入】			
維持会員会費	2675000	2832000	-157000
学会会員会費	5124000	4984000	140000
一般会員会費	318000	773000	-455000
【会費収入】合計	8117000	8589000	-472000
【寄付金収入】			
寄付金収入	0	1000000	-1000000
【寄付金収入】合計	0	1000000	-1000000
【補助金等収入】			
文部科学省助成金収入	900000	900000	0
【補助金等収入】合計	900000	900000	0
【事業収入】			
火山定期購読料	819000	808500	10500
火山別刷販売金	1000000	324611	675389
予稿集販売金	160000	152670	7330
書籍等販売金	150000	155041	-5041
大会参加費等	660000	873200	-213200
広告掲載料収入	15000	0	15000
【事業収入】合計	2804000	2314022	489978
【その他収入】			
受取利息	3000	653	2347
雑収入	200000	317292	-117292
【その他収入】合計	203000	317945	-114945
【経常収入】合計	12024000	13120967	-1096967

【経常支出】

【事業費】

火山学に関する定期大会等の開催費

予稿集印刷費	760000	340848	419152
予稿集発送費	30000	12600	17400
臨時雇賃金	350000	275950	74050
会場使用料	350000	207510	142490
会議費	30000	0	30000
旅費謝金	400000	272877	127123

通信運搬費	100000	26702	73298
機材借料	290000	0	290000
雑費	600000	333020	266980
火山学に関する定期大会等の開催費合計	2910000	1469507	1440493
会誌機関紙研究報告書等発行費			
火山印刷費	3700000	2779141	920859
火山発送費	500000	405932	94068
別刷印刷費	350000	199476	150524
別刷発送費	40000	16877	23123
通信運搬費	50000	1230	48770
雑費	700000	588096	111904
会誌機関紙研究報告書等発行費合計	5340000	3990752	1349248
公開講座講演会等開催費			
臨時雇賃金	200000	12000	188000
旅費謝金	200000	188822	11178
通信運搬費	20000	6396	13604
印刷費	300000	426060	-126060
雑費	280000	266722	13278
公開講座講演会等開催費 合計	1000000	900000	100000
火山学の普及啓発に関する事業費			
臨時雇賃金	20000	0	20000
旅費謝金	3320000	58560	3261440
通信運搬費	10000	620	9380
印刷費	100000	0	100000
雑費	2500000	203521	2296479
火山学の普及啓発に関する事業費 合計	5950000	262701	5687299
火山学に関する研究奨励表彰費			
その他印刷費	350000	6200	343800
奨励費	400000	0	400000
雑費	220000	22000	198000
火山学に関する研究奨励表彰費 合計	970000	28200	941800
助成金支出			
助成金支出	800000	600000	200000
助成金支出 合計	800000	600000	200000
【期首・期末棚卸】			
売上原価	0	225273	-225273
【期首・期末棚卸】合計	0	225273	-225273
事業費 計	16970000	7476433	9493567

【管理費】

給料手当	3700000	3505552	194448
臨時雇賃金	200000	0	200000
法定福利費	600000	551991	48009
福利厚生費	10000	7030	2970
会議費	20000	0	20000
旅費交通費	800000	281494	518506
通信運搬費	500000	223477	276523
消耗品費	380000	227464	152536
光熱水料費	160000	84647	75353
賃借料	260000	255688	4312
租税公課	150000	132482	17518
支払手数料	750000	725340	24660
減価償却費	169553	169553	0
徴収不能額	206580	96800	109780
保険料	5000	4932	68
雑費	800000	68222	731778
管理費 計	8711133	6334672	2376461
【経常支出】 合計	25681133	13811105	11870028
当期経常増減額	-13657133	-690138	-12966995

《正味財産増減の部》

当期正味財産増減額	-690138
前期繰越正味財産額	38391884
次期繰越正味財産額	37701746

固定資産額	21542000
期末棚卸高	2930617
前払費用	7809
前期繰越収支差額	13674441
次期繰越収支差額	13221320 -453121

資料2 (続き)

財産目録

特定非営利活動法人日本火山学会
特定非営利事業

[税込](単位:円)
平成29年3月31日現在

《資産の部》		
【流動資産】		21,596,590
現金・預金	17,279,607	
未収会費	748,000	
棚卸資産	2,930,617	
未収金	630,557	
前払費用	7,809	
【固定資産】		21,542,000
その他の固定資産 合	7,246,810	
計		
有形固定資産 計	14,295,190	
資産の部 合計		43,138,590
《負債の部》		
【流動負債】		5,436,844
前受会費	5,385,000	
預り金(給与源泉所得税 等)	51,844	
負債の部 合計		5,436,844
正味財産		37,701,746

資料 3

平成 29 年度予算

勘定科目名称	H28 実績額	H29 予算	前年実績との差 異
《経常増減の部》			
【経常収入】			
【会費収入】			
維持会員会費	2832000	2725000	107000
学会会員会費	4984000	4788000	196000
一般会員会費	773000	775000	-2000
【会費収入】合計	8589000	8288000	301000
【寄付金収入】			
寄付金収入	1000000	0	1000000
【寄付金収入】合計	1000000	0	1000000
【補助金等収入】			
文部科学省助成金収入	900000	900000	0
【補助金等収入】合計	900000	900000	0
【事業収入】			
火山定期購読料	808500	745500	63000
火山別刷販売金	324611	330000	-5389
予稿集販売金	152670	150000	2670
書籍等販売金	155041	100000	55041
大会参加費等	873200	1450000	-576800
広告掲載料収入	0	0	0
【事業収入】合計	2314022	2775500	-461478
【その他収入】			
受取 利息	653	1000	-347
雑 収 入	317292	300000	17292
【その他収入】合計	317945	301000	16945
【経常収入】合計	13120967	12264500	856467

【経常支出】

【事業費】

火山学に関する定期大会等の開催費

予稿集印刷費	340848	350000	-9152
予稿集発送費	12600	20000	-7400
臨時雇賃金	275950	300000	-24050
会場使用料	207510	550000	-342490
旅費謝金	272877	410000	-137123

通信運搬費	26702	60000	-33298
機材借料	0	300000	-300000
雑費	333020	510000	-176980
火山学に関する定期大会等の開催費合計	1469507	2500000	-1030493
会誌機関紙研究報告書等発行費			
火山印刷費	2779141	3200000	-420859
火山発送費	405932	500000	-94068
別刷印刷費	199476	350000	-150524
別刷発送費	16877	40000	-23123
通信運搬費	1230	50000	-48770
雑費	588096	390000	198096
会誌機関紙研究報告書等発行費合計	3990752	4530000	-539248
公開講座講演会等開催費			
臨時雇賃金	12000	20000	-8000
旅費謝金	188822	200000	-11178
通信運搬費	6396	10000	-3604
印刷費	426060	400000	26060
雑費	266722	370000	-103278
公開講座講演会等開催費 合計	900000	1000000	-100000
火山学の普及啓発に関する事業費			
臨時雇賃金	0	10000	-10000
旅費謝金	58560	5360882	-5302322
通信運搬費	620	10000	-9380
印刷費	0	330000	-330000
雑費	203521	620000	-416479
火山学の普及啓発に関する事業費 合計	262701	6320882	-6058181
火山学に関する研究奨励表彰費			
その他印刷費	6200	50000	-43800
奨励費	0	400000	-400000
雑費	22000	50000	-28000
火山学に関する研究奨励表彰費 合計	28200	500000	-471800
助成金支出			
助成金支出	600000	800000	-200000
助成金支出 合計	600000	800000	-200000
【期首・期末棚卸】			
売上原価	225273	0	225273
【期首・期末棚卸】 合計	225273	0	225273
事業費 計	7476433	15650882	-8174449

【管理費】

給料手当	3505552	3800000	-294448
法定福利費	551991	600000	-48009
福利厚生費	7030	10000	-2970
旅費交通費	281494	810000	-528506
通信運搬費	223477	220000	3477
消耗品費	227464	230000	-2536
光熱水料費	84647	90000	-5353
賃借料	255688	323408	-67720
租税公課	132482	150000	-17518
支払手数料	725340	750000	-24660
減価償却費	169553	169553	0
徴収不能額	96800	0	96800
保険料	4932	4932	0
雑費	68222	900000	-831778
管理費 計	6334672	8057893	-1723221
【経常支出】 合計	13811105	23708775	-9897670
当期経常増減額	-690138	-11444275	10754137

《正味財産増減の部》

当期正味財産増減額	-690138	-11444275	10754137
前期繰越正味財産額	38391884	37701746	690138
次期繰越正味財産額	37701746	26257471	11444275
固定資産額	21542000	21542000	
期末棚卸高	2930617	2930617	
前払費用	7809	7809	
前期繰越収支差額	13674441	13674441	
次期繰越収支差額	13221320	1777045	-11897396

資料 4

表彰規定の改訂案

改訂の理由 学会賞の承認が、学会後、半年以上要するため.

表彰規定の改訂素案

- (現 行) 3. 表彰は各賞選考委員会が受賞候補者の選考を行い、理事会が候補者を決定し、総会の承認を経て行う.
- (改定案) 3. 表彰は各賞選考委員会が受賞候補者の選考を行い、理事会が候補者を決定し、総会の承認を経て行う. ただし、日本火山学会学生優秀発表賞は、各賞選考委員会が受賞候補者の選考を行い、理事会で決定する.
- (改定案) 7. 日本火山学会学生優秀発表賞の授賞対象は、当該年の前年の日本火山学会秋季大会において学生が筆頭講演者の口頭あるいはポスター発表とする。授賞件数は毎年数件程度とする。
- (改定案) 7. 授賞件数は毎年数件程度とする。また、口頭発表賞、ポスター発表賞を受賞できるのは、それぞれ1回限りとする。

